



部報

◇ラクビー部

長い冬眠から醒めて天地の總てが光明を胸に輝く前途に向つて力強くその第一步を踏み出さんとするとき、吾がラクビー部も先輩諸兄が血と汗で築いた光輝ある傳統を念頭に、新たに部長として迎えた先輩の角掛先生を始め戸嶋先生や諸先輩の方々の御指導の下に部員一丸となつて、縣下はもとより宿望の東北制覇ひいては全國制覇を實現せんものと放課後のトレイニングに或は合宿の錬磨に文字通り火の出る様な努力の一步が踏み出されたのだ。新しく整つたブルーイエローのユニフォームに又スパイクに選手の士氣はいやが上にもあがり、お互に全勝を誓い合いつつ晴れの試合を待つたのである。

△春の部

○盛岡市制施行六十周年記念
七人制ラクビー大會

日時 五月五日
場所 上田醫大グラウンド
参加校 岩高、盛高、高松高
本校メンバー

組	田綿野田藤保	組	合澤澤田谷垣吉
山	保	五	
A	島小池久佐久	B	堰小伊浦熊板本
F.W		F.W	
H.B		H.B	
T.B		T.B	

第一回戦 岩高B對高松高B

岩高B 6	3	3	0	0	0	0	0	0	0
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

第二回戦 岩高A對盛高B

岩高A 29	16	13	0	0	0	0	0	0	0
--------	----	----	---	---	---	---	---	---	---

第三回戦(準決勝)岩高B對高松高A

岩高B 3	3	0	6	0	6	0	6	0	6
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

B組固くなりすぎてか實力出しきれず惜敗す。

決勝戦 岩高A對高松高A

岩高A 27	13	14	3	0	3	0	3	0	3
--------	----	----	---	---	---	---	---	---	---

日頃の錬磨によつて得た妙技をグラウンド一ぱいにくりひろげ、壓倒的に引き離し、堂々

優勝す。

○春季高校綜合体育祭
ラクビー競技大會

日時 自六月十日至六月十一日
場所 上田醫大グラウンド
参加校 岩高、盛高、高松高、和賀高、黒高、一關高、水澤高、宮古高

本校メンバー

合橋藤田綿澤吉	野田	保藤田垣	谷
山	五	保	
F.W	堰高工小伊本	島池久	久佐浦板熊
H.B			
T.B			
F.B			

第一回戦 岩高對宮古高

岩高 46	31	15	0	0	0	0	0	0	0
-------	----	----	---	---	---	---	---	---	---

準決勝 岩高對黒高

岩高 59	39	20	0	0	0	0	0	0	0
-------	----	----	---	---	---	---	---	---	---

決勝 岩高對和賀高

前半岩高立上りに好調を示し三分、四分、十分……とトライを重ね早くも大きくリードを奪う。和賀高ホワード懸命の反撃を試みしも我がホワード又よくこれをおさえ、その機を與えず。後半に入り益々好調、しかも和賀

高豫想外に脆く一方的試合を展開堂々優勝し優勝旗を授與さる。

岩 高53 2231 0 0 和賀高

斯くして豫期以上の好成績を収めて春の大會を終えた吾々はここに強固なる自信を得、更に秋の大會には有終の美を爲さんものと鷹木、佐藤の兩先輩始め日大の諸兄をコーチヤに迎え八月十七日より一週間の合宿練習を實施しその間八月二十一日には遠來の仙台一高と對戦し軽く一蹴す。

岩 高24 159 0 0 仙台一高

又八月二十八日には花巻グラウンドに於て關東の優勝候補隨一保善商高に一戦を挑み最後のネバリにものをいわせよく保善の弱點をつき快勝す。

岩 高17 143 3 11 14 保善商高

△秋の部

○岩手縣民体育大會兼第四回國民体育大會岩手縣豫選

日時 自九月十六日至九月十九日

場所 上田醫大グラウンド

參加校 岩高、盛高、高松高、柏高、和賀

高、黒高、一關高、水澤高、岩泉高、宮古高

春季大會に於て壓勝した我校選手の意氣天を衝くの勢あり今度も是非勝たねばならぬ、勝つて晴れの東北大會に出場するのだ。選手の心は既に東北大會に飛ぶ。本校より優勝旗の返還あり、試合は開始された。

第一回戦 岩高對宮古高

岩 高62 3230 0 0 宮古高

準決勝 岩高對高松高

昨夜よりの豪雨でグラウンドコンディション最悪加うるに試合開始間もなくF.W本吉君の重傷による退場は、試合を一層困難にせしめたが選手一同泥まみれになりよく最後まで敢闘しペナルティの差で勝つ。

岩手高6 0 6 3 3 6 高松高

ペナルティ岩高8 高松高10

決勝 岩高對和賀高

泥濘の悪コンディションは又もT.B佐藤君を犠牲にした。こゝに至つて選手の憤激極に達し攻撃に一段の激しさを加え最後のとどめをさす。

岩 高8 3 5 3 3 6 和賀高

再び優勝旗を獲得、晴れの東北大會出場權を握る。

本大會に活躍せる本校メンバー左の通り

合橋木田綿澤吉 野田 保藤田藤谷

山五 保

堰高鈴小小伊本 烏池久 久佐浦工 熊

F.W H.B T.B F.B

○第四回國民体育大會ラック

ビー競技東北豫選

日時 自九月二十三日至九月二十五日

場所 仙台市評定河原東北大學競技場

參加校 岩手高、和賀高、青森高、秋田工

高、秋田南高、仙台一高、仙台工

高、鶴岡高、磐城高

縣豫選の疲勞回復の暇もなく、不幸にも傷ついた本吉、佐藤の兩君を残し戸嶋、角掛兩先生の引率のもとに待望の東北大會に駒を進めた。

本校メンバー

合橋木藤綿田澤 野田 保谷田村 澤

山五 保

堰高鈴工小小伊鳥 池久 久熊浦中 小

F.W H.B T.B F.B

第一回戦 岩手高對青森高

岩手高 12
 3 9
 3 3
 6 青森高

準決勝 岩手高對仙台一高

岩手高 9
 6 3
 3 3
 6 仙台一高

決勝 岩手高對秋田工高

宿敵秋工との一戦。選手の熱血たぎり、胸は高鳴つた。若しこの一戦に勝たんか、年來の宿望全國制覇も夢ではないのだ。互に捨身の覺悟で試合開始のホイッスルを待つ。

前半ホワードは互角の技を示し、試合は一進一退の白熱戦を展開したが、後半に入るや疲労の色濃い岩高陣の亂れに乗じて敵の攻撃物凄く次々と得点を許し、遂に一トライを報いたのみで茲に全國制覇の夢は淡くも消え去つたのである。

岩手高 3
 3 0
 35 15
 50 秋田工高

○縣下七人制ラグビー大會

場所 上田醫大グラウンド

日時 十月九日

参加校 岩高、盛高、高松高、柏高、黒澤

尻高、一關高

本校メンバー

組 綿田 野田 田保
 山 保
 A 組 澤橋 木澤 木藤 橋
 B 組 伊高 鈴藤 佐佐 高

小島 池久 浦久

F.W. H.B. T.B.

岩高 A 21 1110 00 0 黒高 A

第一回戦

岩高 B 不戦勝 黒高 B

第二回戦

準決勝

岩高 A 11 1110 00 0 盛高 B

岩高 B 0 00 1112 23 盛高 A

決勝

岩高 A 12 93 03 3 一關高

かくして優勝権を授與さる。

岩高 A 6 60 05 5 盛高 A

○全國新制高校ラグビー

競技大會岩手縣豫選

日時 自十月十日至十月十一日

場所 上田醫大グラウンド

参加校 岩高、盛高、高松高、和賀高

準決勝

岩手高 39
 24 15
 00
 0 盛高

決勝

岩手高 9
 6 3
 0 3
 3 高松高

悠々岩手縣選手権を獲得し東北大會出場権を握る事が出来た。嗚呼併し何たる事ぞ豫算の不足がこの出場を逸せしめたのだ。

○平館高等學校開校記念招待

七人制ラグビー大會

日時 十一月三日

場所 平館高等學校グラウンド

参加校 岩高、盛高、高松高、平館高

本校メンバー

組 綿田 田田野藤 組 澤橋合 澤木 藤谷

A 組 小島 浦久 池佐 B 組 伊高 堰 小佐 工熊

F.W. H.B. T.B.

岩高 B 8 53 93 12 高松高

第一回戦

岩高 A 37 2314 00 0 盛高 A

準決勝

岩高 A 37 2314 00 0 盛高 A

決勝

岩高 A 14 $\left\{ \begin{array}{l} 11 \\ 3 \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 3 \\ 3 \end{array} \right\}$ 6 高松高

優勝楯は我の手に歸す。

○黒澤尻町長杯爭奪ラクビー大會

日時 自十一月五日至十一月六日

場所 和賀高校グラウンド

第一回戦

岩高 B 6 $\left\{ \begin{array}{l} 3 \\ 3 \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 3 \\ 3 \end{array} \right\}$ 6 黒高 B

2 (ペナルテイ) 8 ペナルテイの差で勝つ。

岩高 A 48 $\left\{ \begin{array}{l} 27 \\ 21 \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 0 \\ 0 \end{array} \right\}$ 0 和賀高 B

準決勝

岩高 A 67 $\left\{ \begin{array}{l} 53 \\ 14 \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 0 \\ 0 \end{array} \right\}$ 0 黒高 A

岩高 B 0 $\left\{ \begin{array}{l} 0 \\ 0 \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 9 \\ 12 \end{array} \right\}$ 21 高松高

決勝

岩高 A 14 $\left\{ \begin{array}{l} 11 \\ 3 \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} 0 \\ 3 \end{array} \right\}$ 3 高松高

堂々町長杯を獲得す。

斯くして終えた今年の戦跡を振り返つて見ると、今春來の努力の效も空しからず吾々は今や意氣揚々、縣下に覇を高唱する事が出来

た。しかし、勝つて益々兜の緒をしめよ、下級生諸君、いつまでも井の中の蛙に甘んじていることはない。今後大いに先輩諸兄の教訓と熱ある校友諸君の應援とを俟つて目指すは吾々の力を滿天下に知らしむべく中央に出るのだ。百里の道を究めるためには最初の一步から始めねばならぬ。徒に砂上の樓閣を建てる事にのみ勞を費してはならない。後輩諸君よろしくこの事を膽に銘じ、試合に泣かずして規律ある練習に泣き、必ず好敵秋工を破つてもらいたい。

(小綿輝雄記)